

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	07	01	02	0404	商店街賑わいづくり事業		
総合計画	分野	しごと					
	政策	1-3	商業の振興				
	施策	2	商店街の再生				
目的	商店街の賑わいづくり支援						
対象	事業者、商店街団体						
意図	商店街等のイベントや未利用店舗活用の事業者						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
<input type="checkbox"/> 各種団体補助金・負担金 ・花巻商工会議所補助金 ・まちの駅連絡協議会会費 ・岩手県中小企業団体中央会補助金 <input type="checkbox"/> 商店街活性化イベント事業補助 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援 <input type="checkbox"/> 市民ふれあい広場運営事業 商店街（一日市、大迫町、東和町）の利便施設運営 <input type="checkbox"/> 中心市街地新規出店者経営支援事業 中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対する店舗の改装や借上げに要する経費の支援							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
①	商店街活性化イベント実施件数	件	計画	12	12		
			実績	12	12		
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
①	商店街活性化イベント来街者数	人	目標	90,000	90,000		
			実績	86,000	91,082		
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郊外大型店出店により市全体の買い物利便性が向上する反面、既存商店街の競争力、商業機能は低下しており、買い物弱者の問題も生じてきた。中心商店街の賑わいづくりが喫緊の課題である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	商店街の組織力、未利用店舗オーナーの意識改革、経営力向上などにより、事業効果の向上余地はあると考えられる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	イベント補助金、新規出店者経営支援事業は現行以上に削減するのはインセンティブとして弱すぎるため削減余地なし。市民ふれあい広場は人件費分を削減予定。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	中心市街地を対象とした以外には、受益機会は公平であり、事業者や団体等の自己負担も一定程度必要であり、適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	07	01	02	0404	商店街賑わいづくり事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			45,768		45,768
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		45,768		45,768

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

市民満足度の高い商業機能の確保と、商店街の再活性化を図ります。

事業開始の背景・経緯

中心市街地の商店街疲弊に歯止めをかけるため、商店街団体が実施するイベントや商工会議所、中小企業団体中央会の経営指導事業等を支援するとともに、商店街における便利施設運営、未利用店舗の活用促進により、中心市街地の賑わいを創出していく。

事業概要

- 各種団体補助金・負担金
 - ・花巻商工会議所補助金
 - ・まちの駅連絡協議会会費
 - ・岩手県中小企業団体中央会補助金
- 商店街活性化イベント事業補助

商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業に対する支援
- 市民ふれあい広場運営事業

商店街（一日市、大迫町、東和町）の便利施設運営
- 中心市街地新規出店者経営支援事業

中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対する店舗の改装や借上げに要する経費の支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 市民ふれあい広場運営は、市負担を物件費（賃料、光熱水費等）のみとし、運営人件費は地元商店街等の負担（ボランティア）として協議済。
- 中心市街地新規出店者経営支援事業は、商店街推薦（加盟必須）の制度として改正。商店街等による新規出店者の掘り起しを期待するとともに、商店街組織力強化を支援する。新規出店者には商店街とともに永く商店街活性化とまちづくりに協力していくことを求める。

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 藤原啓昭 内線 389

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

□各種団体補助金・負担金 35,565千円

- 花巻商工会議所補助金 32,888千円
市内中小企業者の経営指導や部会活動費、調査広報費、イベント費用などを支援。
 - まちの駅連絡協議会会費 60千円
まちの駅いしどりや酒造交流館がまちの駅として認定され、協議会に加入している。同協議会は、まちの駅に取り組んでいる市町村・団体のネットワークであり、まちの駅情報の共同発信、イベント・シンポジウム、特産品紹介・斡旋、研修事業などを実施。
 - 岩手県中小企業団体中央会補助金 2,617千円
中小企業の組織強化、経営向上のための経営指導などを行う。
花巻市内重点支援団体10団体、特別支援企業25社
- ※大迫き酒まつり実行委員会負担金90千円は、H26より南部杜氏協会支部補助金に統合

□商店街活性化イベント補助金 4,365千円

- 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業を補助する。
【現行】対象経費の30%、500千円上限（2イベント以上の場合上限1,000千円）
【見直し検討】対象経費の1/2、上限等同じ。

□市民ふれあい広場運営事業 1,702千円

- 3 商店街の便利施設として運営。
H26は人件費相当分の委託なしとし、物件費のみ市負担。管理は地元へ無償委託する。
 - ・一日市商店街（一日市商店街振興組合） 804千円
 - ・大迫町商店街（おおはさま共通商品券協同組合） 239千円
 - ・東和町商店街（東和町土澤商店街商店会連絡会） 563千円
 - ・修繕料のみ一括で要求 96千円
- ※石鳥谷「小さな百貨店」は生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業（～H26）

□中心市街地新規出店者経営支援事業 4,136千円

- 新規出店者の定着による中心市街地の賑わいづくりを促進するため、未利用店舗を活用して行う事業に対しての店舗借上及び当初の改装にかかる経費を補助する。
申請事業に対し、中小企業診断士による経営指導と、審査委員会で事業継続性を審査する。
新規開業者は補助事業期間中にも経営指導を2回行う。
 - ・報償費 196千円 審査委員会@4千円×延べ23（6回）=92千円
経営指導@13千円×8回=104千円
 - ・補助金 3,940千円
 - 補助率等【改正】 2年目補助（追加）家賃12月分の1/4（家賃上限25千円/月、上限300千円）
 - 補助対象エリア 交付要綱に定める「中心市街地」エリア